

パブリック・コメント意見要旨一覧

1 計画全体

意見要旨		区（教育委員会）の考え方
1	<p>新宿の子どもたちが、読書のよるこびを感じ、成長していくためにも、1冊でも多くの本が読める環境を大人の責任として作ってあげたい。</p>	<p>今後の取組みの参考とします。</p> <p>第四次新宿区子ども読書活動推進計画は、新宿区の子どもがあらゆる機会と、あらゆる場所において、自主的に読書活動をおこなうことができるよう、家庭、地域、学校そして図書館等の役割を明確にし、施策を推進します。</p>
2	<p>今、学校は無論都会の中で父性や母性が孤立化したりして良好な子どもたちに向けられない背景を考えると、時間的に余裕のあるおじいさん、おばあさんをどうからめて双方のコミュニケーションを作り出すかが最短の施策のひとつだと思います。</p> <p>何よりも好奇心をどう知の入口から本等へ結びつけられるかを計画してほしい。しかけ絵本づくりや、おじいさんやおばあさんのお話会（けん玉、おはじき、お手玉、歌…）等々、ご老人の新たな役割を作り出すこともぜひ検討してください。</p> <p>①このためには、子どもにとって安心安全な、近所のおじいさんやおばあさんからなる新たな公的機関のコーディネートの手法もぜひ試みて下さい。</p>	<p>今後の取組みの参考とします。</p> <p>区立図書館では、お年寄りをはじめ様々な年齢の方々から成る「読み聞かせ」のボランティアグループが多数活躍しています。</p> <p>児童館等では、シニア活動館や地域交流館との併設の施設も多く、地域の高齢者の方々から子どもたちに「昔遊び」や囲碁・将棋などを教えていただいております。</p> <p>また、すでに学校では、地域の支援を得て、高齢者の方々による昔遊びなどを行っています。</p> <p>魅力あるおはなし会や行事を通して、子どもたちに図書館や児童館等へ来館してもらい、なお一層「本」へ結びつける機会を増やしていきます。</p>
3	<p>②各図書館ごとに、健康づくりネット他と連携して、多様な情報交流をこそ、好奇心が知へとつながるのではないのでしょうか？そしてその関係の本へ といったモチベーション喚起フィジカル（顔、声、手…）情報との接点の多様化という手法もPDCAでやってみてください。</p>	<p>ご意見として伺います。</p> <p>現在、区立保健センターと地域図書館との連携で「絵本でふれあう子育て支援事業」を情報交換しながら実施しています。今後も様々な機関との情報交換をとおし、また、子どもの視点に立った、魅力ある図書館行事を展開していきます。</p>
4	<p>第4次新宿区子ども読書活動推進計画（素案）をみていて、ここまで、数値化、マニュアル化しなくてもいいのと思うところが多々ありました。このかたくるしさは何なのでしょう。</p>	<p>ご意見として伺います。</p> <p>各事業の現況等を客観的に見るため、数値等を利用しています。</p>

5	<p>知りたいと思う好奇心にきちっと応えられず、という大人が周囲にたくさんいるのではないのでしょうか。それを掘りおこすことが必要ではないのでしょうか。区独自に「子ども質問なんでもどうぞ」日でも月に1回設けるような子ども主体の発想はできないのでしょうか。</p>	<p>ご意見として伺います。</p> <p>現在、各区立図書館のカウンターにおいて、子どもたちの疑問や要望等をお聞きしながら、回答が得られる図書館資料の提供に努めています。今後も引き続き、このようなレファレンスを通して、子どもたちの疑問や要望等に応えていきます。</p> <p>従って、特定の日に限定した『「子ども質問なんでもどうぞ」日』の実施については、考えておりません。</p>
6	<p>病院内のような管理のもとで親子が本を読むという光景を想像するだけでそれが『子ども読書活動』だと思ふ方々のためであっても『子どもが活動するための読書』とはと改めて、誰が何のための推進なのですかと問いたくなります。</p>	<p>ご質問にお答えします。</p> <p>第四次新宿区子ども読書活動推進計画は、新宿区の子どもがあらゆる機会と、あらゆる場所において、自主的に読書活動をおこなうことができるよう、家庭、地域、学校そして図書館等の役割を明確にし、推進に関する施策の方向性や取組を示したものです。</p>

2 家庭・地域における子どもの読書活動の推進に関すること

	区（教育委員会）の考え方
<p>意見要旨</p> <p>7</p> <p>子どもは元々「なんで？」「どうして？」が1番の元気ではないのでしょうか。「お母さんはこう思うけど、あまりわからないから図書館の先生にきいてみようか？」といったひとつの対応があれば読書活動推進などということよりよほどその子にとっての知への扉が開かれるのではないですか。その意味では「おやごさんは、スマホをやめて子どもと話そう！」といったキャンペーンでもしなければ…と思いますが。</p>	<p>ご意見として伺います。</p> <p>子どもが読書好きになるためには、まず、保護者は家庭で子どもと一緒に本に親しむことが大切です。</p> <p>就学前児童から小学生までの保護者を対象に、段階的な絵本や児童書の選び方などを紹介する「本と絵本の講座」等を展開していくなど、家庭で本に親しむ環境づくりに努めていきます。</p>

3 こども図書館及び地域図書館における子どもの読書活動の推進に関すること

意見要旨		区（教育委員会）の考え方
8	<p>本もある意味道具です。道具は人間が使うものです。仕事の環境等々で働くことが道具としてますますきびしくなっている経済社会の中で、せめて1人でも「道具を使いこなせる人間になりたい」という声なき声を施策に活かしてください。情報もある意味道具です。使いこなしてこそ生きる力になります。子どもたちのためにも、図書館で働く方々のためにも「インテリジェンス・コミュニケーション」を考え続けて、PDCAをまわし続けていって下さい。</p>	<p>ご意見として伺います。</p> <p>子どもの読書活動に関わる人材を育成するためには、まず、図書館職員の知識の蓄積、技術の向上を図ることが重要です。</p> <p>研修をより効果的に行うため、都立図書館及び国際子ども図書館など外部研修の活用をはじめ、区立図書館においても研修を実施しています。</p>
9	<p>3つの視点の「②区立図書館、子育て関係施設の読書環境・読書活動の充実」とありますが、ぜひ、おおきな病院がたくさんある新宿なので、小児科病棟（外来、入院共）への図書の本を充実するための予算を設けてほしい。もしくは、図書館からの貸出数の拡大をぜひお願いします。</p>	<p>ご意見を反映します。</p> <p>現在、病院が必要とする図書館資料の貸出を行っていますが、病院と調整のうえ、貸出冊数の拡大を検討していきます。</p>
10	<p>本や新聞を読まない親、そして、読めない親をどうするかを先に考えるべきではないでしょうか。</p> <p>「家読」といっても、パート等々で多忙な母親がそこまで時間的にも心の余裕もなくしつつある時代に、むなししい感を禁じえません。</p> <p>むしろ時間的に余裕のある地域資源を活用すること。『おじいさんやおばあさんに子が教えてあげる』ということを考えると、全く違う図書館という居場所が見えてきませんか。</p> <p>「ピーボ君の家にこのパンフレットを届けて下さい」「1人暮らしのお年寄りにぬくもり便りを届けて、読んであげて下さい」といった戦略と戦術を考えてみてはどうですか。</p>	<p>ご意見の趣旨に沿って取り組みます。</p> <p>子ども自身が、読み聞かせの主体になるなど、子どもたちが自ら読書に関して活動することは有意義であると考えています。</p> <p>第四次子ども読書活動推進計画（素案）では「子ども読書リーダー講座」を開催するなど、子どもたち自らが読書活動の中心となり、学校や地域で活躍できるよう取り組んでいきます。</p> <p>なお、「家庭読書をはじめましょう」事業については、調査・検討の後、事業実施を計画しています。</p>
11	<p>データの取り方について</p> <p>少なくとも良いですから、1回でも読書（本を借りた）子の数とか、1度でも図書館に行った子の数といったデータをとって下さい。（むしろ読</p>	<p>ご意見の趣旨は取り込み済みです。</p> <p>区立図書館では、来館者数及び貸出点数をはじめ、年齢別貸出点数や登録者数など様々な統計データを集計し活用しています。</p>

書スタンプでも考えてみませんか)	また、各区立図書館において、行事の一環として読書スタンプを実施し、多くの子どもたちに喜ばれています。
------------------	--

4 区立学校における子どもの読書活動の推進に関すること

意見要旨		区（教育委員会）の考え方
12	子どもにとって、読書とのかかわりは、家庭、学校、図書館、書店等ありますが、学校について、十分な司書の配置（一校に一人、毎日来てもらえるように）を是非お願いしたいです。	<p>今後の取組みの参考とします。</p> <p>現在、司書等の資格を持った学校図書館支援員を全校に週2回配置し、児童・生徒の発達段階や興味・関心に応じた読書案内等を行うなど、読書活動の充実を図っています。</p> <p>今後も引き続き、学校図書館の「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての各機能を充実するよう取り組んでいきます。</p> <p>また、司書の配置のあり方については当面、現行の体制を継続していきたいと考えていますが、各校の実情を踏まえながら検討していきます。</p>